

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成24年 6月 15日

愛知県知事 殿

提出者 清水 栄治

住 所 刈谷市相生町3丁目3番地

氏 名 アイシン開発株式会社

取締役社長 堀江 正勝

電話番号0566-27-8700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	アイシン開発株式会社
事業場の所在地	刈谷市相生町3丁目3番地
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	299億円
③従業員数	319人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	旧建物解体：石綿含有がらす・陶磁器がら→最終処分業者に委託して埋立処分

<p>特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</p> <p>(管理体制図)</p> <p>環境管理委員会委員長(経営企画部 常務執行役員)</p> <p>経営企画部</p> <p>環境管理委員会</p> <p>経営管理本部 (4部の各部長(責任者) / 各部署長(責任者))</p> <p>都市開発事業本部 (4事業部の各部長(責任者) / 各部署長(責任者))</p> <p>建設事業本部 (3事業部の各部長(責任者) / 各部署長(責任者))</p> <p>保険事業本部 (部長(責任者) / 各部署長(責任者))</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記の組織図に従い各事業部の部長で構成する環境管理委員会を設置して、廃棄物に関する事項の方針・方法を検討する又、廃棄物の数量報告及び活動状況も報告。 廃棄物責任者は、廃棄物の削減・適正な管理及び処理等全般を管理する。 各部及びプロジェクト(現場)に建設系廃棄物責任者を定めて、廃棄物の分別と廃棄物量及びマニフェストの管理を実施し、関係者への指導を行う。 	
--	--

<p>特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</p>							
①現状	【前年度(平成23年度)実績】						
	<table border="1"> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td> <td>特定有害廃石綿等</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>92 t</td> <td>t</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃石綿等	—	排出量	92 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	特定有害廃石綿等	—				
	排出量	92 t	t				
(これまでに実施した取組)							
・実施していない。							
②計画	【目標】						
	<table border="1"> <tr> <td>特別管理産業廃棄物の種類</td> <td>石綿含有ガラス・陶磁器くず</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>90 t</td> <td>t</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	石綿含有ガラス・陶磁器くず	—	排出量	90 t	t
	特別管理産業廃棄物の種類	石綿含有ガラス・陶磁器くず	—				
	排出量	90 t	t				
(今後実施する予定の取組)							
・実施する予定はない。							

<p>特別管理産業廃棄物の分別に関する事項</p>	
①現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>・実施していない。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>・実施する予定はない。</p>

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施する予定はない。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成 23年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	石綿含有ガラス・陶磁器くず	—
	全処理委託量	92 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託先処理業者に羽定期的に実地確認を実施する。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	石綿含有ガラス・陶磁器くず	—
	全処理委託量	90 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者に羽定期的に実地確認を実施する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。